

# 第五一期定時株主総会

## 次 第

二〇二〇年六月十七日

株式会社セゾン情報システムズ

### 一・開 会

### 一・議 事

#### 報告事項

一、第五一期（二〇一九年四月一日から二〇二〇年三月三十一日まで）事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

二、第五一期（二〇一九年四月一日から二〇二〇年三月三十一日まで）計算書類の内容報告の件

#### 決議事項

第一号議案 剰余金の処分の件

第二号議案 取締役八名選任の件

第三号議案 監査役一名選任の件

第四号議案 監査役の補欠者一名選任の件

### 一・閉 会

- 1. 第51期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件**
- 2. 第51期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）計算書類の内容報告の件**

# 企業集団の現況

## 当連結会計年度において

- ・企業収益は、海外経済減速や米中貿易摩擦を要因とした先行き不透明な状況で推移
  - ・新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、世界経済全体の急速な収縮が懸念
- 先行きの不透明感は一層大きなものとなっている

- 既存システム更新・刷新や生産性向上、情報セキュリティ対策等を目的としたデジタル化への需要を背景に堅調に推移
- AI、IoT、ビッグデータ、RPA、ブロックチェーン、クラウド等、DX（デジタルトランスフォーメーション）が進展し新たな期待・需要が高まる
- クラウドに代表されるサービス型ビジネスへの転換が進む
- 一方で、最新テクノロジーやITイノベーションに対応できる優秀な技術者の育成および確保が急務

主に生活者向けに利便性、快適性および心の豊かさを提供する企業に対し、システム構築、情報処理サービス、パッケージ製品/サービスの企画・開発・販売およびサポートサービス等を提供

- ・ Fintechプラットフォーム事業 …… クレジット業界向けにシステムの開発・運用
- ・ 流通ITサービス事業 …… 流通・サービス業界向けシステムの開発・運用およびデータ連携サービスの提供
- ・ HULFT事業 …… データ連携プラットフォーム「HULFT」等のパッケージソフトウェアの販売・保守

# 重点施策による成果

| 重点施策                     | 成果   |
|--------------------------|--|
| New Businessの創出          | ・新技術・新市場への製品・サービス売上高：56.9億円<br>（前期比：57.0%増）、構成比：23.8%（前期：15%）                          |
| HULFT事業の成長加速             | ・売上高85.7億円（前期比：12.0%増）<br>・サポートサービス等のストック性売上比率62.5%                                    |
| 新技術への対応と開発力強化            | ・新技術レベル&サービス品質向上で国内外から表彰を多数受賞<br>・先端技術（AI・IoT・ビッグデータ・RPA・ブロックチェーン・クラウド等）の研究開発および案件化の伸長 |
| 仕事改革と生産性向上               | ・テレワーク環境整備が新型コロナ対応に大きく貢献<br>（在宅可能な業務比率78.6%）<br>・残業時間減少や健康経営推進で生産性・働き方の質向上             |
| 変化に適応するバイモーダルな組織風土への自己変革 | ・研修カリキュラム刷新・柔軟な採用活動による社内外人材発掘<br>・教育機関とのコラボレーションによる技術者の育成支援                            |

# 連結損益計算書

| 連結（単位：百万円）          | 2020年3月期 | 2019年3月期との比較 |        |
|---------------------|----------|--------------|--------|
|                     | 実績       | 実績           | 増減率    |
| 売上高                 | 23,560   | 23,641       | ▲0.3%  |
| 営業利益                | 3,449    | 2,332        | +47.9% |
| 経常利益                | 3,488    | 2,345        | +48.7% |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 1,099    | 2,034        | ▲46.0% |

※汎用サーバー基盤提供サービスの終了に伴う特別損失の計上により親会社株主に帰属する当期純利益は前期を下回ったものの、HULFT事業好調により営業利益・経常利益は対前期で増益

# 事業別業績

| 連結（単位：百万円）        | 売上高    |           | 営業利益  |           |
|-------------------|--------|-----------|-------|-----------|
|                   | 実績     | 前年<br>同期比 | 実績    | 前年<br>同期比 |
| Fintechプラットフォーム事業 | 10,034 | ▲12.2%    | 1,291 | ▲26.6%    |
| 流通ITサービス事業        | 5,000  | +9.6%     | 371   | +242.5%   |
| HULFT事業           | 8,579  | +12.0%    | 2,344 | +51.7%    |
| その他調整額 ※          | ▲53    | —         | ▲557  | —         |
| 合計                | 23,560 | ▲0.3%     | 3,449 | +47.9%    |

※各セグメントに配分していない全社費用等

- ・設備投資の総額 18億33百万円

汎用サーバー基盤提供サービス追加投資および「HULFT」  
などの販売用ソフトウェアの開発

- ・企業集団の従業員の状況

従業員数：716名

※従業員数は就業人員であり、臨時従業員を含んでおりません。

**新型コロナウイルス感染症による外部環境の急激な変化への対応が足元の課題だが、2019年3月期を初年度とする3カ年の中期経営計画を着実に遂行することが重要**

- ・既存事業の徹底した生産性向上により収益性の向上を実現
  - ・新たな市場・顧客へより収益性の高い事業を展開
- 更なる事業の成長を目指す

**※詳細は後程、議長より説明いたします。**

# 連結貸借対照表

| 連結（単位：百万円）      |               | 2020年3月期      | 2019年3月期との比較  |               |     |
|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-----|
|                 |               |               | 実績            | 増減額           | 増減率 |
| 流動資産            | 13,168        | 12,708        | +460          | +3.6%         |     |
| 固定資産            | 6,409         | 7,932         | ▲1,523        | ▲19.2%        |     |
| <b>資産合計</b>     | <b>19,577</b> | <b>20,640</b> | <b>▲1,063</b> | <b>▲5.2%</b>  |     |
| 流動負債            | 6,162         | 6,822         | ▲660          | ▲9.7%         |     |
| 固定負債            | 592           | 733           | ▲141          | ▲19.3%        |     |
| <b>負債合計</b>     | <b>6,755</b>  | <b>7,556</b>  | <b>▲801</b>   | <b>▲10.6%</b> |     |
| <b>純資産合計</b>    | <b>12,822</b> | <b>13,084</b> | <b>▲261</b>   | <b>▲2.0%</b>  |     |
| <b>負債・純資産合計</b> | <b>19,577</b> | <b>20,640</b> | <b>▲1,063</b> | <b>▲5.2%</b>  |     |
| <b>自己資本比率</b>   | <b>65.5%</b>  | <b>63.4%</b>  | <b>+2.1P</b>  | <b>-</b>      |     |

（添付書類28ページ）

# 第51期 定時株主総会

カテゴリートップの具現  
～特定分野において、ダントツの存在感を発揮する～

2020年6月17日



## 2021年3月期（第52期）について

# 2021年3月期の事業環境分析

## Political

- 地政学リスクは非常に高いまま
- 新型コロナを契機とした分断リスク
- ITへの政策歩み寄り  
(国家成長戦略としての Society5.0)
- デジタル市場のルール整備
- 社会インフラ（電力、ガス）法的分離

## Economical

- 新型コロナによる世界不況
- キャッシュレス推進継続
- Fintech/Regtech/MaaS/  
スマート公共サービス/5G
- コト売り化・パーソナライズ化・  
業種横断化  
→データ流通の効率性が一層  
求められる

## Company

- 特定顧客向け既存事業の減退と  
リンケージサービス事業の成長
- 50周年を迎え、名実ともに情報子会社から  
変身する時機
- イノベーションの誘発促進
- 将来の事業コアの開発着手

## Supplier

- 若年労働力の減少と  
働き場所の選別

## Customer

- システム投資は選別的  
(生産性向上やDX優  
先) ではあるが堅調
- 意思決定主体はIT部門  
からLoBへ

## Competitor

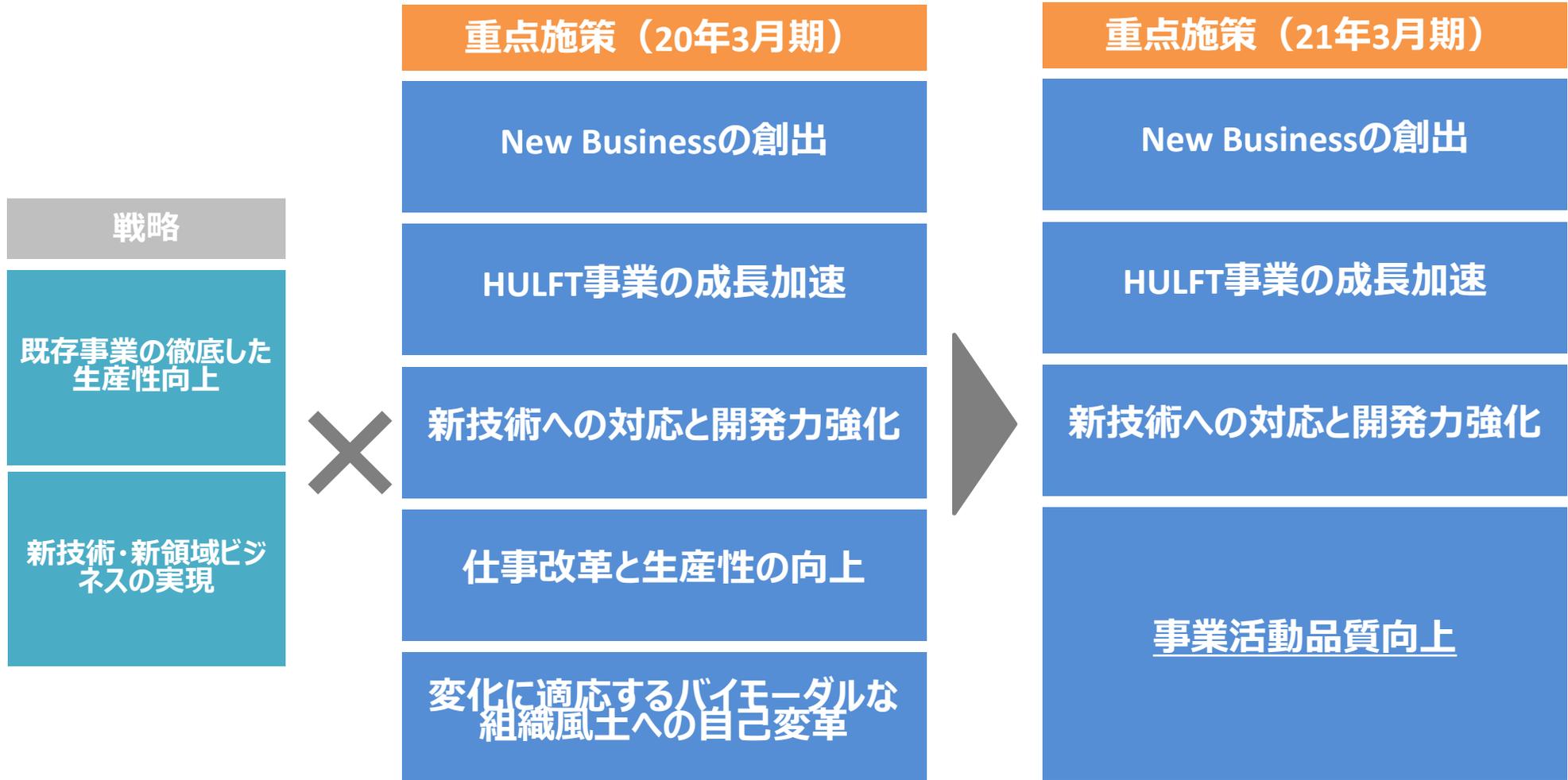
- 2025年の崖ブームで基幹リプレ  
ース景気
- クラウドファーストが常識に
- データサイエンティストの獲得競争

- 多様性要求
- 働き方改革  
→新型コロナ対応が拍車をかけ  
る
- プライバシー保護とSDGsによる  
企業選別

## Social

- データエンジニアリング  
(分散ワイドデータとその  
分析)/SoIの重要性
- サイバーセキュリティへの  
注目

## Technological



|                         |   |
|-------------------------|---|
| <p><b>重点<br/>施策</b></p> | <p><b>New Businessの創出</b></p>   |
| <p><b>テーマ</b></p>       | <p><b>リンケージビジネスの拡充・進化</b></p>   |
| <p><b>内容</b></p>        | <p>リンケージサービスをビジネスユニットとして独立させ、<br/>要員・資金を重点投下し、成長エンジンの中核にする</p> <p>当社内に導入した基幹周辺サービスをリンケージサービスのメニューに<br/>加え、既存サービスとのクロスセルで早期に収益化するとともに、<br/>リンケージサービス周辺のサポートデスク事業を立ち上げる</p> <p>ビジネスイノベーションセンターにおいて、新たな対象サービスを<br/>開拓・追加する</p> <p>新規お客様・お客様内新規ユーザ部門の開拓を進め、引き続き<br/>新規3象限売上を拡大する</p> <p>次世代サービス間連携プラットフォームサービスの研究・開発を<br/>進め、リリースする</p> |

主目的

売上拡大

コスト最適化

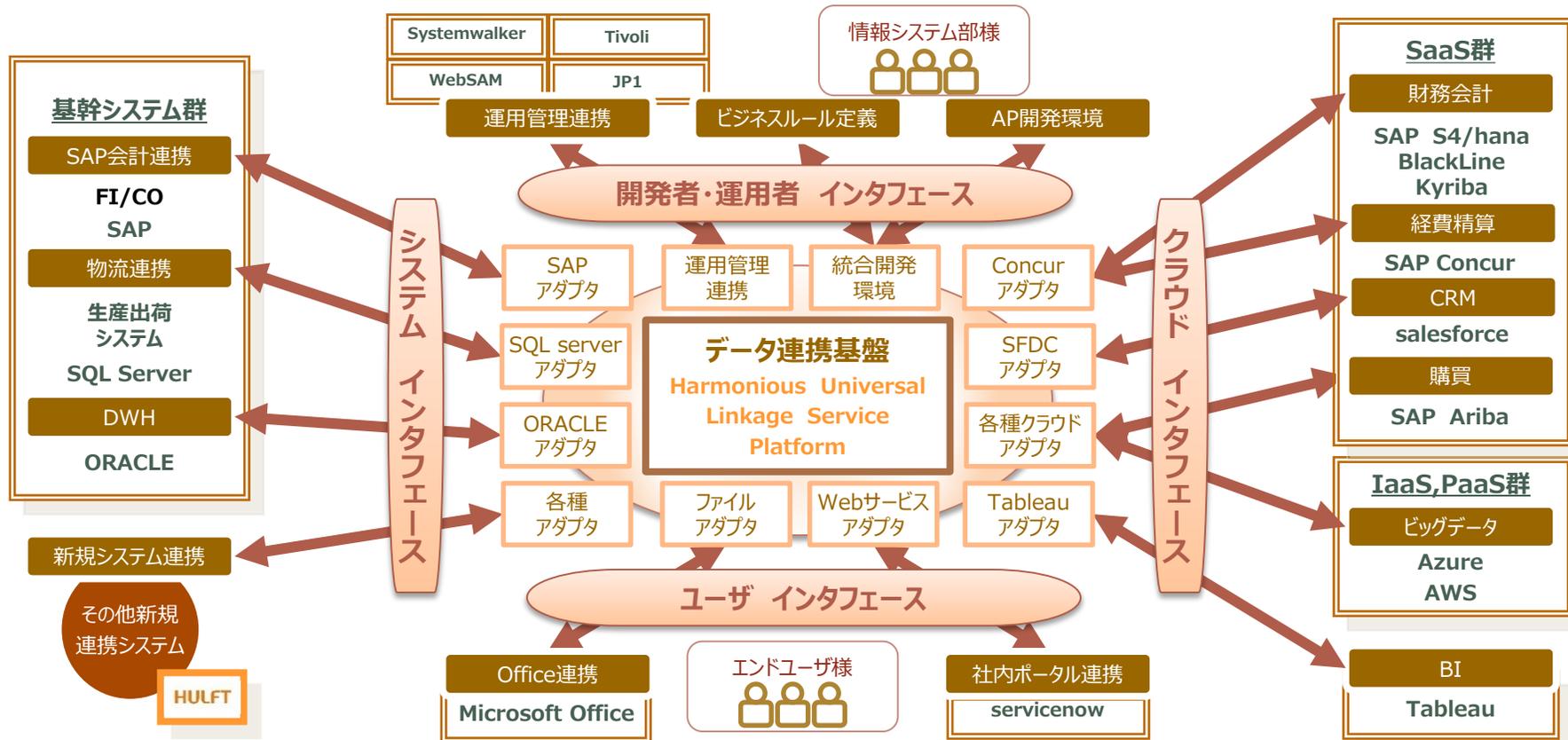
競争優位性確保  
刷新による  
業務プロセス

事業リスクの  
ミニマイズ

# 1. New Business の創出

## ～リンケージビジネスの拡大・深耕～

データ連携だけではなく、データ連携基盤構築サービスを提供することで、連携されたデータで経営情報を可視化し、お客様の意思決定を加速させます。



\* 本資料に掲載する社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。

|          |  |
|----------|--|
| 重点<br>施策 | <h2>HULFT事業の成長加速</h2>  |
| テーマ      | <h3>Data Management Solutionの推進</h3>   |
| 内容       | <p><b>新製品verを計画通りリリースし、19年のサーバOS更改需要一巡後の国内市場を再刺激、ライセンス/サービス収益を確保する</b></p> <p><b>基幹システムリプレイス/パブリッククラウドリフト案件での、DSS/DSCによるシステム移行を徹底訴求する</b></p> <p><b>HULFT/DSS間で統一された品質プロセスにより、安全・安心を徹底する</b></p> <p><b>将来の製品ラインアップに合わせて、製品開発・維持体制の最適化に努める</b></p> <p><b>国内外のホワイトスペースを開拓する。海外事業は、製造業を共通ターゲットに、製品サービス売上を確保する</b></p> |

#### 主目的

売上拡大

コスト最適化

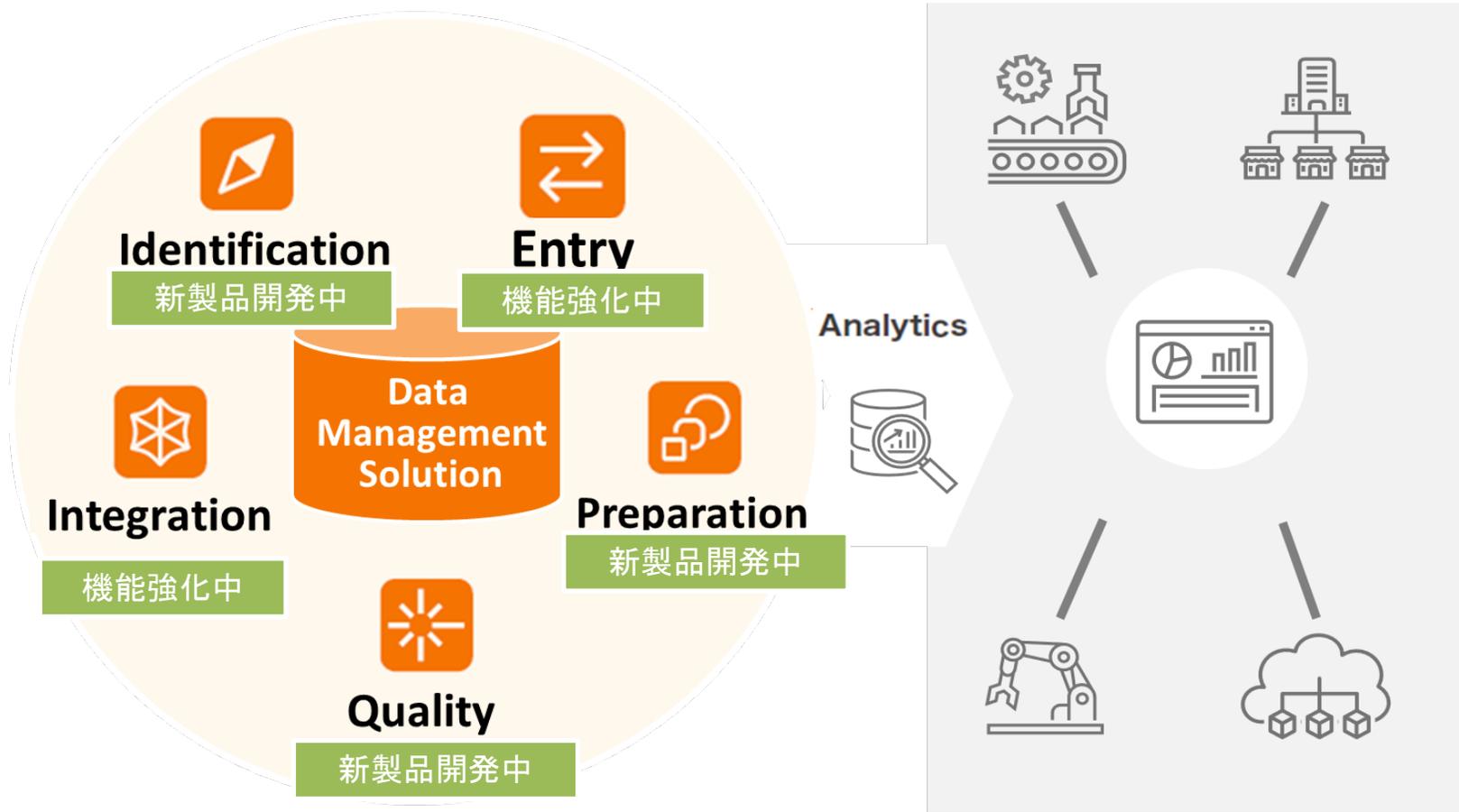
業務プロセス  
刷新による  
競争優位性確保

事業リスクの  
ミニマイズ

## 2.HULFT事業の成長加速

### Data Management Solution コンセプト

Data Experienceの向上：もっと自由に、IT部門もビジネス部門もデータを活用し意思決定・アクションにつなげる



|                  |  |
|------------------|--|
| <b>重点<br/>施策</b> | <b>新技術への対応と開発力強化</b>   |
| <b>テーマ</b>       | <b>技術/ビジネス両面からの新規事業創出</b>  |
| <b>内容</b>        | <p><b>TVC・ビジネスイノベーションセンターを中心に、全社で社外とのオープンイノベーションを推進し、業界での存在価値を示す</b></p> <p><b>システム提案ではクラウドネイティブファーストを標榜し、クラウドの利点を徹底的に活用する</b></p> <p><b>全社共通開発基盤としてのモダンインフラ利用を徹底し、効率と品質を確保する</b></p> <p><b>データをつなぐに止まらず、分析しお客様の価値創造につなげる事業（データエンジニアリング）の創出を全社で行う</b></p> <p><b>マルチクラウド・マルチプレイス運用のツールを更に研ぎ澄まし、次世代の運用サービスを具現化する</b></p> |

主目的

売上拡大

コスト最適化

業務プロセス  
刷新による  
競争優位性確保

事業リスクの  
ミニマイズ

### 3.新技術への対応と開発力強化

#### ～スキルアップ支援～

##### ◆全社的に重視されている技術スキル

|                    |                               |                |                |             |                               |                     |
|--------------------|-------------------------------|----------------|----------------|-------------|-------------------------------|---------------------|
| AWS                | アジャイル                         | DSS利用          | Java           | Azure       | JIRA                          | ネットワーク              |
| PostgreSQL         | DSS開発                         | Oracle         | GitHub         | AI          | コンテナ                          | SQL                 |
| SQL Server         | Linux                         | Jenkins        | ウォーターフォール      | JavaScript  | MySQL                         | Amazon Redshift     |
| RPA                | BIツール                         | Python         | Windows Server | HULFT利用     | GCP                           | 既存事業<br>CX向上フレームワーク |
| UI設計/フロント<br>エンド開発 | テストツール                        | サーバ構成管理<br>ツール | 監視ツール          | HULFT<br>開発 | 新規開発UXフ<br>レームワーク             | Google<br>BigQuery  |
| フロント設計手法           | Azure<br>Synapse<br>Analytics | C#             | スマートフォン開<br>発  | ブロックチェーン    | WEB解析/マー<br>ケティング/グ<br>ロースハック | Go                  |

- ▶ テクノベーションセンターでスキルアップ支援
- ▶ クラウド技術を中心とした認定取得推奨



|                  |   |
|------------------|---|
| <b>重点<br/>施策</b> | <b>事業活動品質の向上</b>  |
| <b>テーマ</b>       | <b>どこでも働ける環境と求心力ある組織運営の両立</b>   |
| <b>内容</b>        | <b>自身の携わる業務プロセスの最小化・最適化を継続するとともに、在宅・モバイル勤務を徹底活用し、引き続き生産性とワークライフバランスの両立に努める</b>      |
|                  | <b>個人の専門領域を明確にするとともに共有し、全社視点で多くの社員のジョブチェンジ、ローテーションを推進する。また、継続的、発展的なスキルアップを支援する。</b> |
|                  | <b>全ラインマネジメントが、可視化されたデータに基づく迅速かつ納得感の高い判断、意思決定が行えるよう社内システム全てをクラウド化し、DX先進事例とする</b>    |
|                  | <b>CSIRTを立上げ、ネットワーク、製品・サービスのセキュリティに関する予防措置やインシデント発生時の速やかな対応を行う体制整備</b>              |
|                  | <b>50周年を機に、コーポレートブランドを刷新し、発信する</b>  |

主目的

売上拡大

コスト最適化

業務プロセス  
刷新による  
競争優位性確保

事業リスクの  
ミニマイズ

## 4. 事業活動品質の向上

### ～データドリブンプラットフォーム～

時間、場所にとらわれず、業務遂行が可能で、プロセスが可視化され、適切な支援が受けられ、業務品質が担保されるシステム基盤を構築する

#### 非財務情報 ヒト/モノ系

商談/日報 (Salesforce)

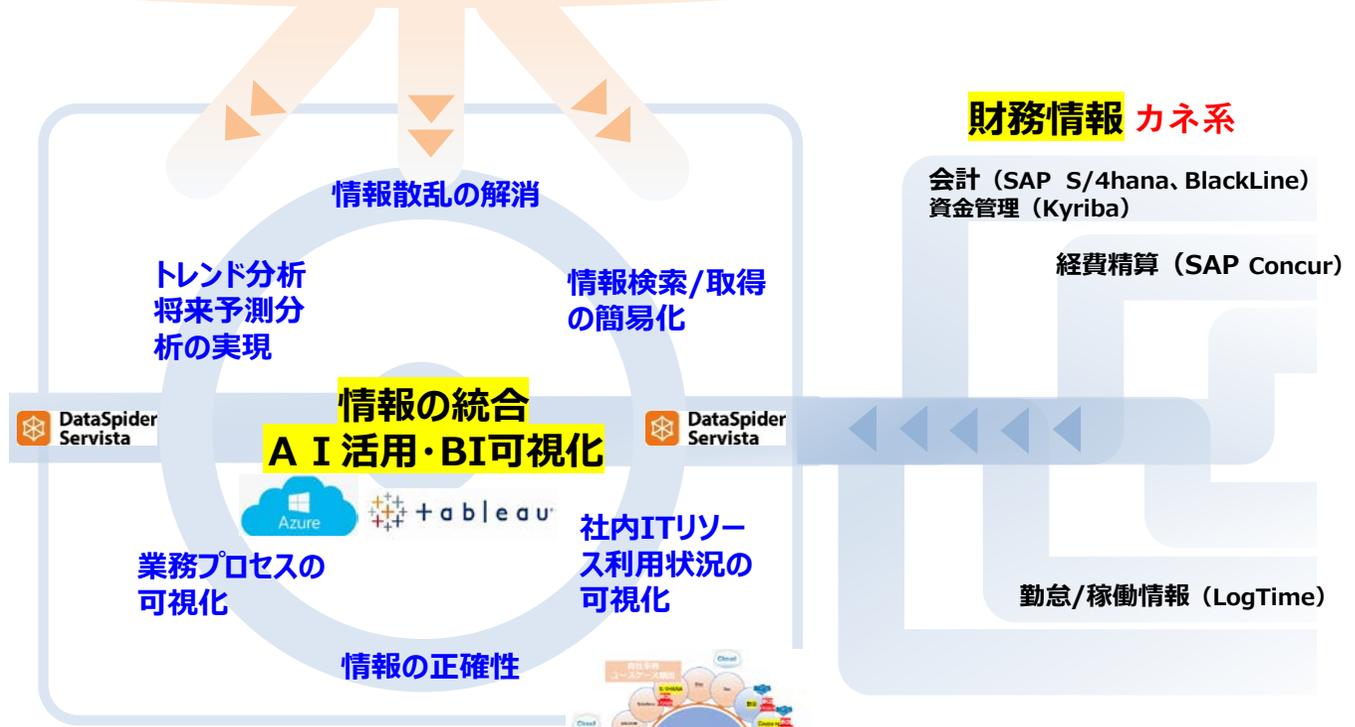
職務履歴/スキル (Workday)



オピニオンサーベイ/ストレスチェック

購買 (SAP Ariba)

プロジェクト状況



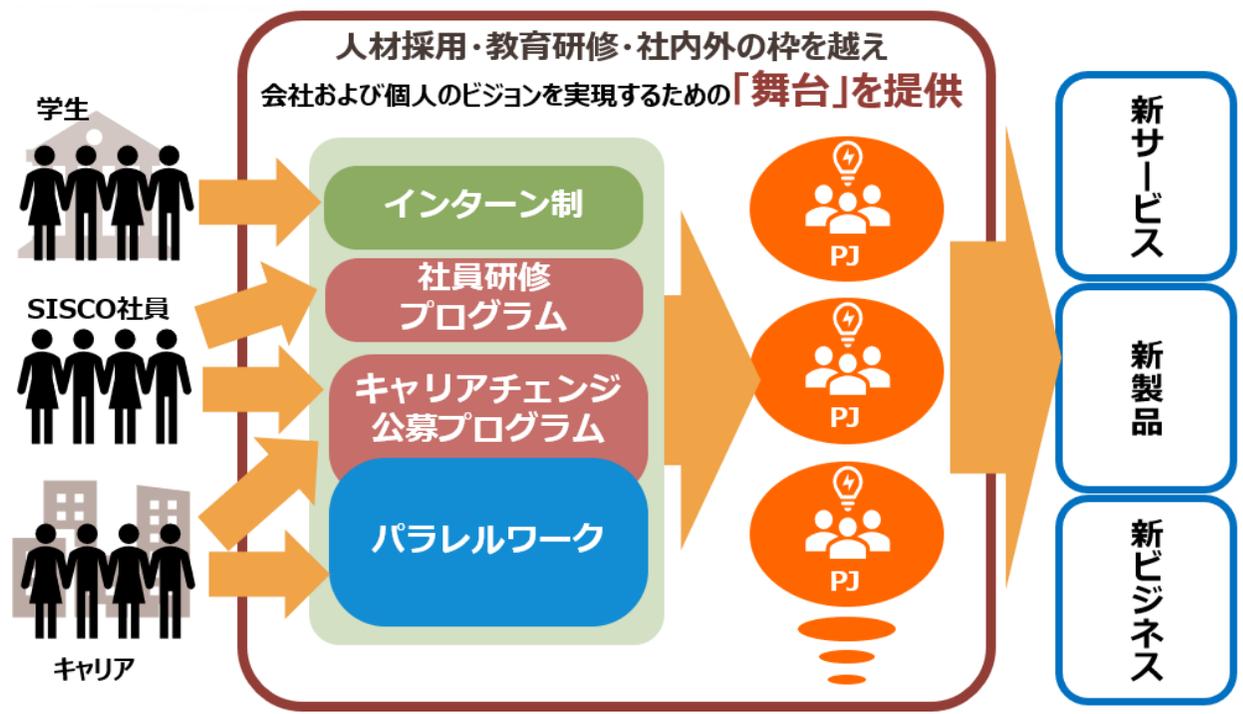
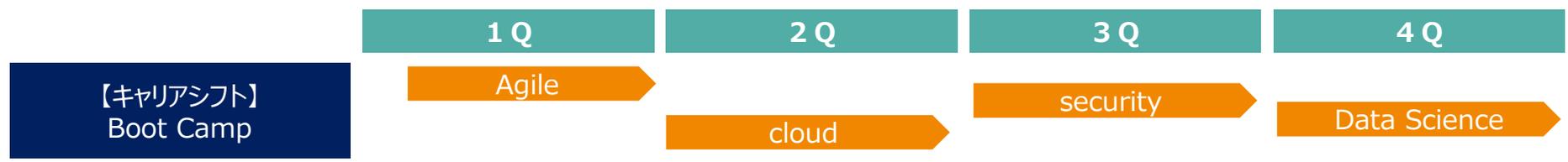
将来はiPaaSへ

重点施策の  
進捗状況

# 4. 事業活動品質の向上

## ～外部人材の確保と人材交流～

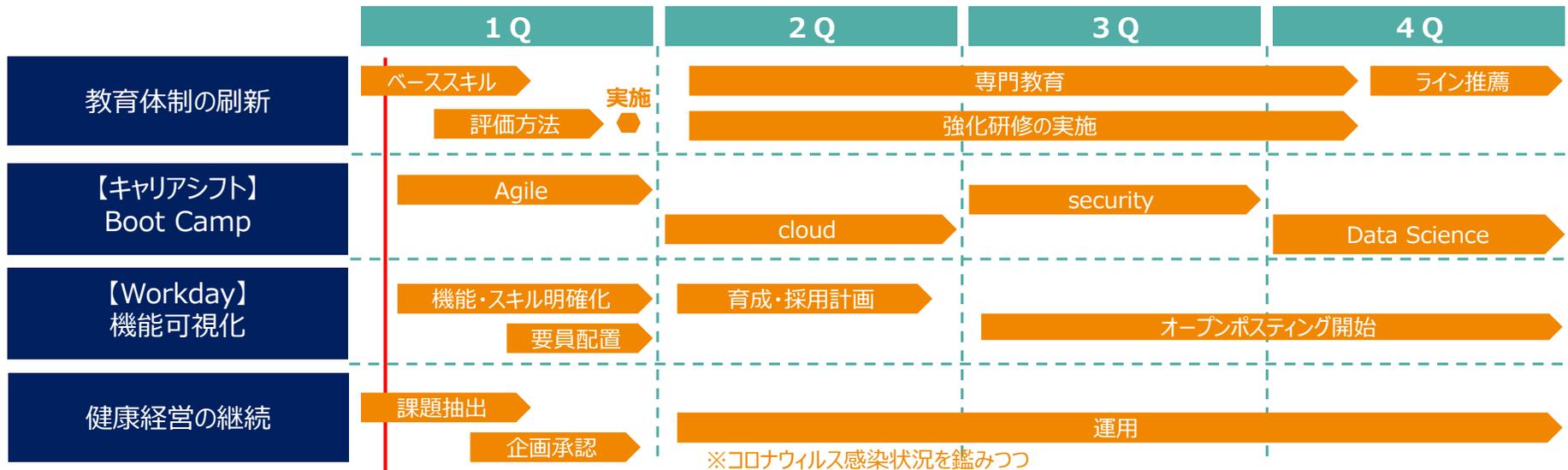
### ◆キャリアシフトサポート



# 4. 事業活動品質の向上

## ～内部人材のリテンション～

### ◆スケジュールとプロセス



#### 教育体制の刷新

- ・Bizスキルのベース項目を定める
- ・アセスメント（評価）の実施
- ・専門教育対象者の確定
- ・強化対象者の確定
- ・教育プランの実施

#### Boot Camp

- ・データサイエンティスト
- ・クラウドエンジニア
- ・セキュリティエンジニア
- ・アジャイル開発エンジニア

#### Workday

- ・組織おける必要機能とスキルの明確化
- ・現在要員の配置
- ・不足機能の育成/採用を明確化
- ・オープンポスティング通年開始

# 2021年3月期 通期業績予想（連結）

新型コロナウイルスの影響は、上期を中心に受注活動に影響し、下期にも影響が残るものの正常化が進む想定であります。

| 連結（単位：百万円）          | 2021年3月期<br>（業績予想） | 2020年3月期との比較 |        |        | 2021年3月期<br>計画値<br>（中期経営計画） |
|---------------------|--------------------|--------------|--------|--------|-----------------------------|
|                     |                    | 実績           | 増減額    | 増減率    |                             |
| 売上高                 | <b>22,000</b>      | 23,560       | ▲1,560 | ▲6.6%  | <b>25,500</b>               |
| 営業利益                | <b>2,500</b>       | 3,449        | ▲949   | ▲27.5% | <b>3,000</b>                |
| 経常利益                | <b>2,500</b>       | 3,488        | ▲988   | ▲28.3% | <b>3,000</b>                |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | <b>2,000</b>       | 1,099        | 901    | +81.9% | <b>2,460</b>                |

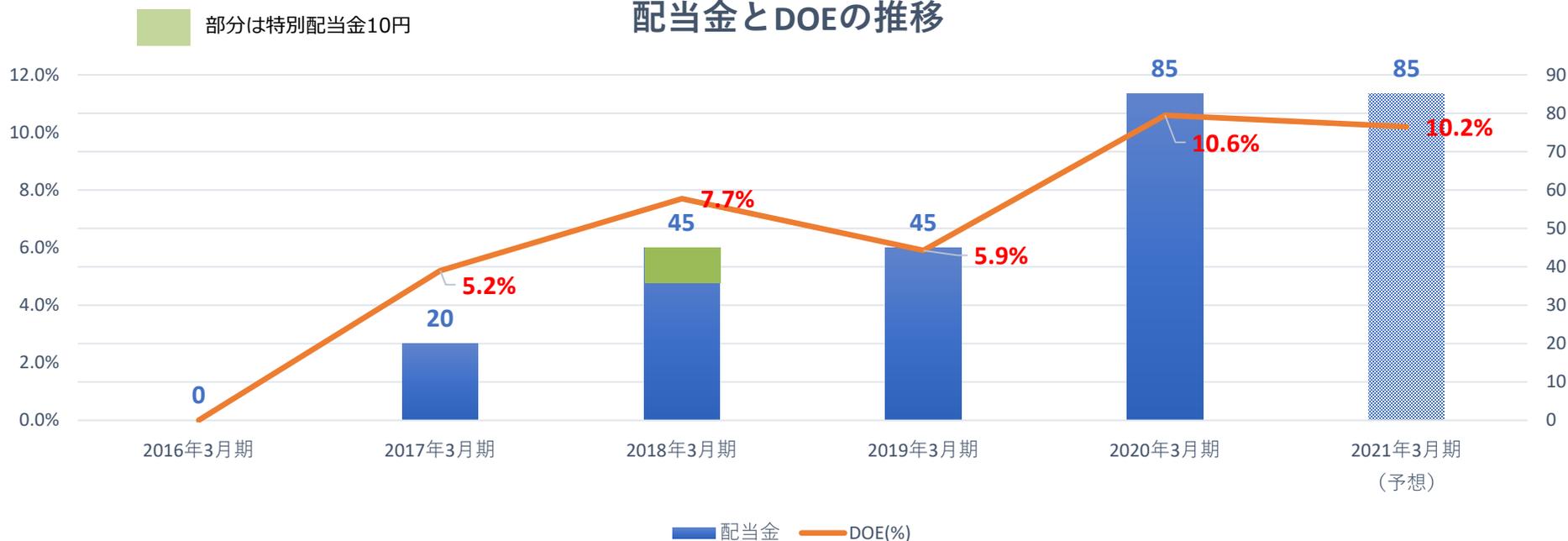
## 備考

- ・フィナンシャルITサービス事業及び流通ITサービス事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けるものと想定されることから、減収減益を見込んでおります。
- ・フィナンシャルITサービス事業は、上述の影響に加え、一昨年に完了した大型開発案件以降はシステム開発投資が減少傾向にあると見込んでおります。
- ・HULFT事業は、ストック性安定収益の比率が高く、堅調に推移すると想定しておりますが、ITインフラ投資の延期や抑制等が発生する可能性があります。

# 2021年3月期配当予想

| 基準日          | 1株当たり配当予想 |     |     | DOE   |
|--------------|-----------|-----|-----|-------|
|              | 第2四半期末    | 期末  | 合計  |       |
| 2021年3月期（予想） | 40円       | 45円 | 85円 | 10.2% |
| 2020年3月期     | 40円       | 45円 | 85円 | 10.6% |

## 配当金とDOEの推移



# 50<sup>th</sup> Anniversary

SINCE 1970

and always will be

当社は、2020年9月1日に創立50年を迎えます。これまで当社を支えてくださいましたお客様・パートナー企業様・そして当社の社員とその家族など、当社に関わる多くの方々への感謝の意と、次の50年も皆様と「伴」に歩み、期待に応えられる価値を提供し続けてまいります。